

平成30年度行政事業レビューシート (内閣府)										
事業名	社会保障・税番号システム整備等業務経費			担当部局	大臣官房			作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	番号制度担当室			福田 毅		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)附則第6条			関係する計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成25年6月14日閣議決定)「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)「世界最先端IT国家創造宣言」(平成25年6月14日閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報提供ネットワークシステムを通じて行われた自己に係る特定個人情報の提供記録や、行政機関が保有する社会保障・税に関する自分の情報について、自宅のパソコン等から、本人が確認できるようにすること。また、子育て関連手続などライフイベントで発生する行政機関等への申請・届出等の手続をオンライン化・ワンストップ化し、国民の利便性向上を図ることを目的としている。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	社会保障・税番号制度のうち、自己の情報提供等記録や自己情報を確認する機能等の提供を行う情報提供等記録開示システム(マイナポータル)について、内閣官房からシステムの移管を受け、平成29年1月以降、当該システムの整備、運用を行う。また、サービス提供機関が住民向けに提供しているサービスを検索、絞り込み、一覧で表示できる機能(サービス検索)、サービス検索機能の表示画面からサービス提供機関へオンライン申請を行うことができる機能(電子申請機能)、地方公共団体の作成する納付情報を基に納付URLを生成する機能等(公金決済機能)を有したサービス検索・電子申請機能等の整備、運用を行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求			
	予算の状況	当初予算		1,032	6,665	9,183				
		補正予算		1,100						
		前年度から繰越し								
		翌年度へ繰越し								
		予備費等								
	計		0	2,132	6,665	9,183	0			
	執行額			1,338	6,191					
	執行率(%)		-	63%	93%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	63%	93%					
平成30・31年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	社会保障・税番号システム開発等委託費		9,183							
	その他		0	0						
	計		9,183	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標30年度	目標最終年度	
	国民が子育てに関するサービスの検索を行えるよう、マイナポータルのびったりサービスに対応する自治体数を増やすことにより、国民の利便性の向上を図る。	マイナポータルのびったりサービスにおいて、子育てに関するサービスの検索が可能となった自治体の数。	成果実績	自治体数	-	-	1,534	-	-	
			目標値	自治体数	-	-	-	1,741	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	世界最先端IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(平成29年5月30日)									

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	平成29年7月よりマイナポータル ¹ の試行運用を開始し、平成29年11月より本格運用を開始した。情報提供等記録表示業務、自己情報表示業務及びお知らせ情報表示業務の主要3業務については稼働率99.99%(実稼働時間/予定稼働時間)を目標に安定した運用に努める。(なお、主要3業務以外については99.9%とする。)	活動実績	-	-	-	-	100	-
	当初見込み	-	-	-	-	-	99.9	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	単位当たりのコストは、経費に対する活動実績により算出する。平成29年11月より本格稼働を開始したため、通年で活動実績を把握できる30年度より算出する。	単位当たりコスト	-	-	-	-	-	-
	計算式	-/-	-	-	-	-	-	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	マイナポータルは、地方公共団体等の事務の効率化及び利用する国民等の利便性の向上に資するものであり、また、本人の関知しないところで行政機関間の不正な情報連携が行われるのではとの国民の懸念に対応するためのものであり、国民や社会のニーズを踏まえて事業を実施している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	マイナポータルは、地方自治体、民間等との連携を実現するシステムであり、当該システムの整備・運用に当たり、高度なセキュリティ対策や経済的合理性を実現するためには、国が実施することが適切な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	マイナポータルを運用することで、本人の関知しないところで行政機関間の不正な情報連携が行われるのではとの国民の懸念に対応することは、マイナンバー制度に対する国民の理解を深め、信頼性を高めることにもつながるため、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、総合評価方式による一般競争入札を行っており、公平・公正な選定を行っている。また、調達に当たっては、代替提案を認めることや、入札制限を真に必要な項目に限定することなど、特定の事業者しか入札できないことがないよう配慮を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	単位当たりコストはシステム本格運用開始後、通年で把握可能となった際に検討する。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の目的に即して真に必要なものを支出の対象としている。また、番号制度推進管理補佐官の助言を踏まえ、公平・公正かつ透明性の高い調達を行っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一般競争入札により調達を行うことで可能な限り競争性を確保し、コスト削減に努めている。システムの整備に向けての調達に当たって	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	平成29年11月の本格稼働後、成果目標としているサービス検索可能な自治体数は着実に伸びている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	平成29年11月の本格稼働後、大きなトラブルが発生することなく安定的な運用を行っており、活動実績の目標としている稼働率も達成できており、見込みどおりに活動できている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	情報連携を行うためには、地方公共団体等においてもシステム改修等の作業が生じるため、必要な情報を地方公共団体等とも共有して作業を進めているところ。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	総務省は、マイナンバー関連システムである情報提供ネットワークシステムの運用を所管			
	所管府省名	事業番号	事業名				
	総務省	0051	番号制度の実施に必要なシステム整備等事業				
点検・改善結果	点検結果	番号制度推進管理補佐官の助言を踏まえ、公平・公正かつ透明性の高い調達により効率的な予算執行を行っている。					
	改善の方向性	番号制度推進管理補佐官の助言を踏まえ、効率的な予算執行及び適切な進捗管理に努めていく。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度			
平成29年度							

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	I.富士通エフ・アイ・ピー(株)			J.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	マイナポータル用端末等の保守・運用	340			
	計		340	計		0

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	富士通エフ・アイ・ ビー(株)	6010601024969	マイナポータル用端末の保 守・運用業務	340	一般競争契約 (総合評価)	1	99.9%	-